

(別紙4(2))

事業所名 : グループホーム福ら舎

作成日 : 平成 26年 2月 5日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	26	定期的なモニタリングやアセスメントが滞っており、入居者様の現状に介護計画が追いついていないため、定期的な介護計画の見直しが課題となっている。	入居者様の現状に即した介護計画を作成し、計画に基づいたケアを行いたい。	管理者の兼務状態を改善し、定期的に担当者会議を行い、計画内容を適宜現状に合わせて修正し入居者様の状態に合わせた介護計画を作成する。	12ヶ月
2	4	運営推進会議が定期的に開催されていない。	計画的にスケジュール調整を行い年6回の開催を目指したい。	定期的な予定を大まかに決め、予定に沿った調整を行う。又、家族代表を複数名にお願いし会議への負担軽減を測る。会議の中で入居者様からの意見を聞く機会を作る。	12ヶ月
3	40	入居者の重度化に伴い、食事介助の必要な入居者も4～5名となっており、介助にかかる時間も長くて2時間を要する入居者もいる中、一緒に同じ食事を楽しめる環境作りが難しくなっている。	食事介助者が多い中でもできるだけ多くの職員が入居者とともに食事ができるように調整したい。	入居者様の食後の時間も利用しながら職員ができるだけ同じ空間で食事することで、家庭的な雰囲気を作っていきたい。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。